

観光振興の推進に向けた施策とアクションプラン

基本理念、基本方針に基づき、観光振興の推進に向けた施策とそれを展開していくための具体的な行動計画をアクションプランとしてまとめ、取り組んでいくことを定めます

☆：重点施策 ▲：短期施策 ▽中長期施策

歴史・文化・伝統を活かした魅力あふれるまちづくり

史跡・文化財の魅力向上



- ▲観光案内ボランティアの史跡めぐり(城陽ウォーク)の充実
- ▽芝ヶ原古墳、久津川車塚・丸塚古墳整備に伴う史跡の連携強化
- ▽史跡・文化財を活かしたサイクリングコースづくり
- ▽城陽市歴史民俗資料館(五里ごり館)の魅力向上

市内の魅力再発見



- ☆光のページェントセカンドステージ事業
- ▲緑と歴史の散歩道を活かしたウォークラリーの充実
- ▽鴻ノ巣山散策ゾーンの充実
- ▽緑と歴史の散歩道の歩道の再確認及び沿道の施設整備



おもてなしの心がひろがるまちづくり

ふるさと自慢の人づくり

- ▲観光案内ボランティアの充実・支援
- ▽市民活動の育成・支援
- ▽まちの自慢をクチコミで発信
- ▽ふるさと大使による魅力発信

来訪者に優しい環境整備

- ▲観光情報窓口・案内板・説明板の設置
- ▽景観に配慮したサインの整備充実
- ▽トイレ、休憩所、環境美化の充実
- ▽移動手段の充実、駐車場の整備

観光拠点の充実

- ☆観光協会の組織・機能強化と拠点の充実
- ▽サンガタウン城陽のPR
- ▽文化パルク城陽の活用とコンベンションの誘致

宿泊機能の充実

- ▽アイリスイン・プラムインの機能充実
- ▽地元食材を活用した特色ある料理の提供

豊かな自然と特産物を味わえるまちづくり

自然を活かした拠点整備

- ☆梅の郷青谷づくり(青谷梅林と青谷地域の自然を活かした観光拠点づくり)
- ▽木津川右岸運動公園「水辺エリア」における特産湧水花卉の活用

特産物を活かした拠点整備と販売促進

- ▲農作物を活かした旬菜レストラン・カフェの展開
- ▽観光客が利用しやすい直販所の展開と商店・飲食店等・商店街との連携
- ▽特産物のインターネット販売
- ▽金銀糸・工芸品・農作物を使った本物・こだわり志向の土産物の開発
- ▽蔵のある道と農作物軒先販売を促進する環境整備



特産物による地域の活性化

- ▲梅まつり・花しょうぶまつり・茶まつりの充実
- ▲城州白を使った商品の製造販売
- ▽観光いも掘り農園の充実
- ▽いちじく・寺田いも・お茶のブランド化とPR



行ってみたいまち、五里のふるさとづくり

観光情報の収集・発信の充実・強化

- ▲観光協会ホームページの充実、双方向情報提供のシステム構築
- ▲観光協会だよりの充実、イベントプログラムの配布、ガイドブックなどの発行
- ▲民間情報誌・クチコミ情報の収集、広報紙・民間情報誌などへのきめ細かい情報の提供



広域観光の連携強化

- ▲山背古道を活かした広域連携事業の強化
- ▲山背古道のサインの充実・休憩所及びサインの設置
- ▽周辺自治体との新たな広域観光ルートの設定

推進体制と組織づくり

- ▲五里のふるさとづくりのための、市民・団体・企業の協働体制の構築
- ▽観光客が満足する多彩なソフト開発

城陽市 観光振興計画

概要版



観光振興の基本理念

古くから「五里五里の里」と位置づけられた交通の要衝としての個性を活かし、市民が地域に対する愛着や誇り・ふるさと意識を持ち、訪れた人々との交流やふれあいによって、まちに賑わいと活力をもたらすまち「五里のふるさと」ふれあいを楽しむまち城陽」を市民・民間・行政と観光協会がともに育てていくことを理念とします。

「五里のふるさと」ふれあいを楽しむまち城陽」

城陽市の観光振興の目標

豊かな自然や農業、商工業、歴史文化が活きるまち

市内の豊かな自然や景観、特産物、伝統技術などを観光資源として積極的に活用し、地域固有の魅力を活かし、史跡や文化財等の魅力を一層体感してもらう仕組みづくりを構築し、観光資源として活きるまちを目指します。

お出かけが楽しくなるまち

市民が地域への愛着を持って来訪者をこころよく満足させるおもてなしの心の醸成を高め、訪れた人が楽しめるようなまちの魅力づくりを進めます。訪れた人々を温かく迎え、何度も訪れたいまちを目指します。

五里のふるさとの魅力発信

観光関連団体の連携を強化し、まち全体で魅力を高め、観光協会などが常に新鮮な魅力を発信していくとともに、市民が自ら本市の魅力を発信することに努め、近隣市町村との連携による山背古道の取り組みなど、山城地域の魅力を高め、市民がふるさとと感じていけるまち「五里のふるさと」づくりを行い、その魅力を効果的に発信できるまちを目指します。

観光振興の基本方針

基本方針1

歴史・文化・伝統を活かした魅力あふれるまちづくり
史跡や、文化財、社寺仏閣等を活かし、既存の観光資源の魅力を高めます。また、既存の観光資源を更に魅力あるものにしていきます。

基本方針2

おもてなしの心がひろがるまちづくり
市民一人一人がふるさと城陽に誇りと愛着を深め、おもてなしの気持ちを持って人々を温かく迎えられる人づくりを進めます。また、市民や訪れる人が、楽しく過ごせる環境や観光案内、宿泊施設の充実整備を進めていきます。

目標とする指標

第3次城陽市総合計画には、本計画の目標年度である平成28年度に1,034,000人の観光客を迎えることを目標として掲げています。そこで、本計画は平成28年度に、年間約110万人の観光客が訪れるまちを目指します。

基本方針3

豊かな自然と特産物を味わえるまちづくり
青谷梅林と鴨谷の滝をネットワークで結び、市内の観光の拠点としての整備を進めます。また、本市の特産物をPRしていくとともに、地域の特色を生かした観光振興を進めていきます。

基本方針4

行ってみたいまち、五里のふるさとづくり
市民や様々な団体の連携を強化し、それぞれが中心となって地域資源を活用し、観光客に行ってみたいと思われるまちづくりを推進し、情報を戦略的に発信していきます。また、近隣市町と連携し、山城地域の魅力を高めていきます。

観光振興の推進に向けた重点施策

アクションプランの中から、観光拠点・施設の整備及び観光事業を具体的に展開し、さらに複数の施策を集約して、総合的に展開できる事業として「梅の郷青谷づくり（青谷梅林と青谷地域の自然を活かした観光拠点づくり）」、「観光協会の組織・機能強化と拠点の充実」及び「光のページェントセカンドステージ事業」を重点施策とします。

重点施策1 梅の郷青谷づくり (青谷梅林と青谷地域の自然を活かした観光拠点づくり)

本市の最大の観光資源である青谷梅林と青谷地域の自然を活かした観光ゾーンを創り、地域の活性化と南部地域の観光玄関口を目指します。

○方針

- 近畿の名勝地であった青谷梅林の復興と豊かな自然のある青谷川周辺の散策ルートの整備
- 国道307号バイパスを活かした観光梅林や道の駅等の整備、及び青谷川親水公園や鴨谷の滝とのネットワーク化
- 観光ゾーンとして中梅林と市辺梅林との散策路の整備
- 観光梅林や道の駅等の計画的推進を図るため、設置や運営方針も定めた整備計画の策定

○計画内容

(1) 青谷梅林の復興

- 生産梅林の整備
後継者の育成と生産梅林の拡大及び放置梅林から生産梅林への転換

(2) 梅林公園の設置

- 観光梅林の設置
国道307号バイパスを活かし、沿道に散策道、展望所、便所を備えた多種の花梅を植樹した梅林公園の造成
- 道の駅の設定
国道307号バイパス沿いに駐車場、休憩施設、便所、観光案内所、特産物直売施設を有した道の駅の設定

(3) 青谷川沿い散策道の設置

- 基本ルートの整備 (中梅林～市辺梅林～梅林公園～親水公園)
- 補助ルートの整備 (親水公園～鴨谷の滝)
- 青谷川ルートの整備 (青谷川の自然景観と河川敷内の整備)



梅まつり（中梅林）



鴨谷の滝

重点施策3 観光協会の組織・機能強化と拠点の充実

市民や団体・企業と協働して総合的かつ効率的に観光を推進し、自主財源の確保や拠点設置により観光振興の中核的な役割を担う観光協会を目指します。

○方針

- 本市の観光振興の中心的な役割を担うことのできる組織・機能づくり
- 地域の関連団体や市民との連携と協働活動の推進
- 自主財源の確保と情報発信機能の強化

○計画内容

(1) 組織の強化

- 会員の増強
個人会員や団体会員を増やし、会費収入の増加と協力体制の充実
- 事務局職員等の育成
最新の観光情勢や観光知識、地域活性化事例や組織運営などの研修の実施
- 自主財源の確保
収益のあるイベントや新たな収益事業等の展開

(2) 観光協会の拠点・機能の充実

駅前商店街の空き店舗や道の駅等への案内・展示・販売機能を有した観光協会の拠点設置

(3) 関係団体との連携強化

- 市民や市民団体等の計画づくりへの参加促進と連携強化
観光ボランティアの充実と活動支援
京都府観光連盟等の観光関係諸団体との連携強化

(4) 情報発信機能の強化

- ホームページの充実
観光協会だよりの発行回数の増加と内容の充実
新聞やテレビなどのメディアとの連携強化



市の鳥（しらさぎ）



市の木（梅）



市の花（花しょうぶ）

重点施策2 光のページェントセカンドステージ事業

本市の冬の風物詩として、光のページェント「TWINKLE JOYO」の魅力が高めるとともに、地域との連携を図り、市民や来訪者が楽しみ地域の活性化に資する観光イベントを目指します。

○方針

- 会場のトータルデザインなどによる魅力の創出
- 基幹配線等設備の整備
- 駐車場やアクセスの整備
- 地域の商店街との連携による地域の活性化

○計画内容

(1) 魅力の創出

- テーマ会場のトータルデザイン化と城陽らしさのあるオブジェクトの設置
- 装飾参加団体の増加
- イベントと光のマーケットの充実

(2) 基幹配線等設備の整備

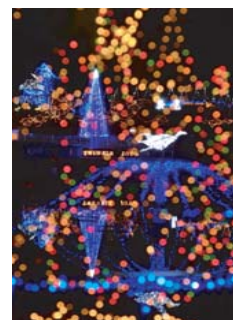
基幹配線、専用受電設備の整備

(3) 駐車場やアクセスの整備

- 臨時駐車場の整備と確保
- シャトルバスの増車などアクセスの充実

(4) 商店街との連携

商店街のイルミネーション
商店街地図の配布とTWINKLEイベントの展開
回遊性を高め消費拡大の仕組みづくり



光のページェント



観光振興の推進体制

基本理念「五里のふるさとふれあいを楽しむまち城陽」の実現のために、観光協会が中心となり、市民・農業者・商工業者や各種団体などが意見を出し合い、観光に関する情報を一元化したり、適切な役割分担の基に、連携・協力しながら取り組んでいく体制を構築していきます。

